

(1)事業の概要等

事業番号	B1800
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧市スポーツ協会助成事業				担当部			健康生きがい支え合い推進部			
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和7年度以降		担当課			文化・スポーツ課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	18	展開方向	担当係			事業推進係			
	予算区分	一般会計	款	10	項	6	目	1	大	3	中	5
	根拠法令・個別計画	小牧市教育振興基本計画 小牧市社会体育振興費補助金交付要綱 公益財団法人小牧市スポーツ協会定款				事業種別			一般事業			
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	本市におけるスポーツ団体を統括し、スポーツの普及と振興を図り、スポーツを通じて市民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする(公財)小牧市スポーツ協会の運営費、事業費を助成することにより本市のスポーツ振興事業の推進を図る。										
	対象 (何・誰を対象に)	○小牧市スポーツ協会助成事業・・・全世代の市民										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	○小牧市スポーツ協会助成事業(102,211千円) 〈現在までの経緯や今後の計画(年度毎)〉 昭和27年・・・小牧町体育協会が設立 昭和30年・・・小牧市体育協会として活動開始 昭和62年・・・財団法人小牧市体育協会として活動開始 平成24年・・・公益財団法人小牧市体育協会として活動開始 令和2年・・・公益財団法人小牧市スポーツ協会として活動開始 ○その他事業(0千円) ○当初予算金額 102,211千円 (一般財源 102,211千円、その他 0千円)										
受益者負担	無											

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5
			直接経費	財源	千円	87,942	71,507
	一般財源	千円	87,942	71,507	76,798	83,245	
	国・県支出金	千円	—	—	—	—	
	その他	千円	—	—	—	—	
	計(A)	千円	87,942	71,507	76,798	83,245	
	対前年比	%	—	81.3%	107.3%	108.3%	
	予算額	千円	101,173	107,890	99,619	98,980	102,211
人件費	正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	
	正規職員(平均賃金)	千円	1,497	1,497	1,497	1,497	
	その他職員	人	—	—	—	—	
	その他職員(時給×時間)	千円					
	計(B)	千円	1,497	1,497	1,497	1,497	
	事業費合計(C=A+B)	千円	89,439	73,004	78,295	84,742	

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		18	展開方向		1	
指標名		単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5
1	健康づくりのために、スポーツに取り組む必要があると考えている成人市民の割合	%	↗	82.6	87.3	86.7	—	
2								
3								

指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5	
指標	成果指標	週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合	%	目標	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0
				実績	52.2	53.1	53.6	—	
	活動指標	健康づくりに関連した運動教室などへの参加者数	人	目標	—	—	—	—	—
				実績	1,329	225	412	96	
活動指標	スポーツ教室などへの参加者数		目標	—	—	—	—	—	
			実績	6,824	2,108	2,459	2,838		
単 位 あ た り	受益者数(a)		人	—	—	—	—		
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—		

(4)事業の評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの	
	事業の達成状況と課題	<p>スポーツ教室やジュニア育成事業をスポーツ協会にて実施している。成人向けのスポーツ教室から子ども向けのジュニア教室等を開催し、スポーツに親しむ機会を提供した。</p> <p>しかし、定員に満たない教室が多くある状況のため、運動機会が減少している市民等に向けて参加を働きかけていく必要がある。</p>	
今後の実施内容	<p>若年層や新規参加者を獲得するため、LINEなどのSNSを活用し、スポーツ教室の情報を市民へ発信していく。また、参加者のニーズを把握し、開催時期や時間、種目等を検討する。</p> <p>教室に参加した子どもたちにジュニア育成活動などの周知を行い、短期的な教室で終わらせることなく継続して運動することができるよう案内する。</p>		
事務事業評価による額	千円	節	細節
	細々節		